

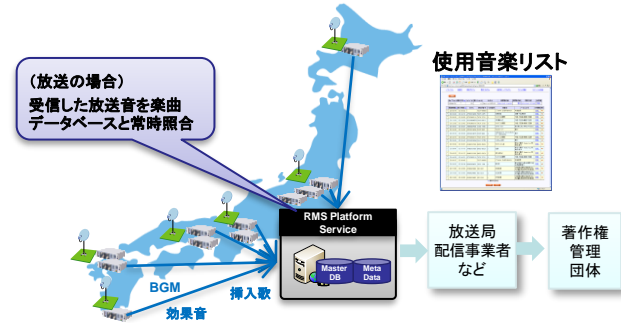
メディア探索技術

動画や音楽などのメディア情報が大量に生成され、ネットワークを通じて広く流通するようになりました。世界中で生成されるメディアデータの量は年々爆発的に増大しています。このようなメディア情報の中から有用な情報を抽出し適切に活用することは、安心・便利な社会を実現する上で喫緊の課題となっています。そこで私たちは、大量のメディア情報の中から特定の情報を高速かつ高精度に見つけ出すメディア探索技術の研究を行っています。

動画や音の情報の探索では、テキストの情報に比べて、情報量が桁違いに多いことや、加工や編集により変化しやすいことが課題でした。そこで私たちは、情報量を極端に減らしながら、局所的な特徴の組み合わせによって目的とする信号を検出する革新的な技術(ロバストメディア探索技術)を開発しました。この技術を用いると、例えば、インターネット上の大量の動画の中に、ある特定の動画の断片が引用されているかどうかを検出することができます。この際、動画や音が加工されて使われている場合、例えば画面の一部にはめこまれていたり、背景音としてごく小さな音量で使われていたりする場合も含めて、高い精度で検出することができる点が本技術の大きな特長です。また、スマートフォンのカメラで撮影した画像から、そこに写っているもの、例えば建物を、高精度に特定することもできます。本技術は、既に、テレビやラジオの放送番組で用いられる音楽の権利処理、スマートフォンを用いたテレビ放送の視聴率調査、動画投稿サイトにおけるコンテンツのモニタリング処理、などに実用化されています。また、技術の高度化の進行とともに、その応用範囲はさらに広がりがつつあります。

●ロバストメディア探索

放送番組などでの音楽使用に伴う権利処理に適用



世界中の動画投稿サイトの投稿に含まれる既知映像をチェック



テレビなど視聴コンテンツとネットコンテンツの連動(セカンドスクリーン)

